



阪神淡路大震災から30年が経ちました。三和小の子どもたちはもちろん、職員の中でも生まれる前の出来事になってきています。植村はあの日、奈良の地で大きな揺れに驚きましたが、揺れている時の「音」により怖さを感じたことを覚えています。この阪神淡路大震災の教訓を風化させないため、例年この時期に避難訓練を実施しています。今回の避難訓練は16日に行うことは児童に連絡していましたが、いつ訓練が起こっても冷静に行動できるようにあえて時間の連絡はしませんでした。実際に訓練を実施したのは掃除の時間でした。この時間に訓練をしたことはなかったのですが、子どもたちは静かに、そして指示をしっかりと聞き落ちて行動していました。運動場が避難場所でしたが、「こっち2年生！」等の声をかけ整列を素早く行おうとし、全員集まるとすぐに静かになりました。ふざけることなく命を守るための訓練を真摯に行っていた子どもたちの姿に、校長としてとても嬉しく思いました。

さわやかなわとびスタート

今週までは短縄です



さわやかなわとびが17日から始まりました。月水金の業前の時間に元気よくわとびをしています。また、さわやかだけでなく休み時間にもなわとびに取り組んでいる子どもたくさんいます。体育の時間ではすでに3分間8の字跳びにも取り組んでいる学級も。目標を目指して頑張っていると思います。



ニコニコあいさつの日に…



朝一のカッシーくん



5分後のカッシーくん

1月24日のニコニコあいさつの日に香芝市のマスコット「カッシーくん」が来てくれました。登校してきた子どもたちは「カッシーくんだ!」と近寄り、あっという間の人だかりとなりました。心なしかこの後の「さわやかなわとび」は、より元気に跳んでいたように感じました。

カッシーくん、来年も三和小に来てくれることを願っています。

むかしあそびのかい(1年生)

1月24日、1年生の「むかしあそびのかい」も行いました。1時間目に準備をし、2時間目は地域の方が来られ、昔遊びを教えてください、また一緒に遊んでいただきました。3時間目には三和幼稚園の子たちが来て、今度は教える立場として頑張っていました。4月に入学してきた1年生が、地域の方の前で挨拶をしている姿や、幼稚園の子に優しく教えている姿、また、きれいに準備された体育館から、1年生の成長をとて感じました。



優しさいっぱい

